



学校だより  
かけ橋

パート V

横須賀市立汐入小学校 校長室

2016. 1. 28  
No. 19

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

## 縁の下の力持ち

子どもたちは、この言葉の意味を言えるでしょうか？「あまり目立たないけど、陰で力をつくす人」のことという意味です。学校で言うと用務員さんがこれにあたります。

通常は、子どもが入らない校舎と山の間の溝ですが、写真のように木の葉がたまり、衛生上や美観の上からも何とかしたいと思っていました。本校の用務員一人では手に余るので、応援を頼んで掃除



をしてもらっても、また、いっぱいになるというたちごっこ。抜本的な手立てが必要です。



そこで、市内の用務員の特別チームが来校して、溝にふたを作ってくれました。ずれないようにストッパーを溶接して、合計80枚以上の大作業でした。

言われないと誰も気づかないと思います。しかし、子ども

たちのために、様々な人がいろいろな形で関わってくれていることに気づかせて、それに感謝できる汐入の子どもたちにしたいと思っています。

# ネット依存

1月9日（土）に、横須賀市PTA協議会の方を講師にお招きして、ケータイ・インターネット講座を開催しました。前半は、5、6年生に対して子ども用に、後半は、保護者だけを対象に、大人へのお話がありました。実際に、横須賀の中学校に通っている子どもを持つ父親の話なので、とても具体的で、子どもたちを守りたいという強い意志が感じられるお話でした。



その話の中で、以下のような問いがありました。ドキッとしました。

## 自分の子どもは大丈夫！と油断していませんか・・・

ネットの時間が増えると学力低下につながるだけでなく、不登校や健康障害など、もっと深刻な問題を引き起こします。実際、学力状況調査の生活アンケートの部分を見ても、汐入小の6年生は、ゲーム等を行っている時間が長すぎるように感じます。

すでにお配りしてある「よこすかケータイ・スマホスタンダード」をお読みいただき、「我が家のルール」で、子どもたちのネット依存にはまらないようご家庭でもご協力をお願いいたします。（用紙が無い場合は、担任まで）

また、ネット社会では、匿名性のための怖さもあります。自分は素性を明かさず、勝手なことを言い、相手の気持ちを逆なです。時には、ネット掲示板などに書かれたことを気にして、心を病んでしまう人もいます。

ケータイ・スマホによるコミュニケーションは、思わぬ誤解やすれ違いを生む可能性があります。顔と顔を合わせたコミュニケーションを大切にしたいと思います。